

令和5年度全国学力・学習状況調査

小美玉市の分析結果と課題について



小美玉市教育委員会

令和5年度全国学力・学習状況調査について(概要)

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査を対象とする児童生徒

【小学校調査】小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

〔小学校調査：国語及び算数 中学校調査：国語、数学及び英語〕

*1：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

*2：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 質問紙調査〔児童質問紙、生徒質問紙〕

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

② 学校に対する質問紙

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

(4) 調査の方式

悉皆調査(全員対象)

(5) 調査日時

令和5年4月18日(火)。ただし、英語「話すこと」に関する調査の期間内実施校については、令和5年4月19日(水)から同年5月26日(金)までの間で文部科学省が指定した日に実施。

調査結果の分析と改善について

本市児童生徒の学力や学習状況について、成果が見られるところと課題が見られるところについて、その一部を本冊子にまとめています。

課題が見られるところについては、小美玉市学力向上対策委員会で作成した「令和5年度学習指導の改善と充実に向けて」を市内小中義務教育学校の全職員に配布し、それに基づき、指導にあたっています。

例えば、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、事柄が成り立つ理由を説明すること、事実や自分の考えなどを整理してまとまりのある文章を書くことなどが身に付くよう、授業改善を図ります。

なお、調査結果については、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意が必要です。

令和5年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【小学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

内容	設問番号	設問の概要・趣旨
書くこと	1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く（図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる） ▲
知識・技能	1三 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する（くらべて）（送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる） ○
読むこと	2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する（目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる） ○
読むこと	2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する（目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる） ▲
知識・技能	2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したのとして適切なものを選択する（情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる） ○
知識・技能	3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する（日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる） ▲

【中学校・国語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要・趣旨
話すこと・聞くこと	1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く（聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる） ○
知識・技能	2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する（事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる） ○
知識・技能	3二	漢字を書く（おし量って）（文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる） ▲
知識・技能	3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとめりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとめりに付ける見出しを書く（具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる） ▲
知識・技能	4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）（歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる） ○
読むこと	4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く（文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる） ▲

令和5年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状(成果と課題)」

【小学校・算数】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容 (成果と課題)

領域	設問番号	設問の概要・趣旨
図形	2(1)	▲ テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ(台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる)
図形	2(3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く(正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる)
数と計算	3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する(示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる)
変化と関係	4(1)	○ 示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ(百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる)
データの活用	4(3)	○ 二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く(示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる)

【中学校・数学】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容 (成果と課題)

領域	設問番号	設問の概要・趣旨
関数	4	○ y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、正しい記述を選ぶ(反比例の意味を理解しているかどうかをみる)
数と式	6(1)	○ はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める(問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる)
数と式	6(2)	▲ はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する(目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる)
データの活用	7(1)	▲ 1961年~1975年の四分位範囲を求める(四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる)
図形	9(1)	▲ 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する(ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる)
図形	9(2)	▲ 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く(条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる)

令和5年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（成果と課題）」

【中学校・英語】

○…身に付いている内容 ▲…課題が見られる内容（成果と課題）

領域	設問番号	設問の概要・趣旨
聞くこと	1(1)	○ ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する（情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる）
聞くこと	1(2)	○ 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する（情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる）
読むこと	8(1)	○ ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する（社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる）
書くこと	8(2)	▲ ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く（社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる）
書くこと	9(1)②	▲ 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる（疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる）
書くこと	10	▲ 学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く（日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる）
話すこと	2	▲ 環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える（社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる）

令和5年度全国学力・学習状況調査「小美玉市の現状（結果と課題）」
【児童生徒質問紙調査】

	番号	【 】…質問内容 ※…結果 *…対策
ICT	児童 31 生徒 35	<p>【学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか】</p> <p>※「30分以上、1時間より少ない」「30分より少ない」「全く使っていない」と回答した児童の割合は79.5%、生徒の割合は86.0%であり、県や国と同様に低い結果となりました。</p> <p>*「学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」という質問に対し、児童生徒の9割以上は「役に立つ」と肯定的に捉えています。しかしながら、学校の授業時間以外に「全く使っていない」児童生徒の割合が約3割もいるのが現状となっています。今後、タブレットの活用が学習において効果を発揮するような使用を推進していくことが必要であると考えます。児童生徒に便利な活用法・効果的な使用方法について周知し、ドリル機能等の活用の仕方を再確認していきます。</p>
表現活動	児童 32 生徒 36	<p>【5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか】</p> <p>※「発表していた」と答える児童が18.3%、生徒が16.5%で、国と比較すると小学校で6%以上、中学校で5%以上下回りました。</p> <p>*児童生徒が自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表するためには、各教科の学習内容を踏まえて、言語活動を充実させることが重要であると考えます。各教科で、複数の事象や資料を見て比較・検討する活動を取り入れたり、発表する際に複数の資料や他者の意見と比較しながら考えたり伝えたりすることを、段階的に指導していきます。</p>